

芸道40年記念チャリティー独演会

はなし かなだ き くれない
噺は神田、聴いて紅。心をこめて語ります。

第6回

創作講談

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群世界文化遺産登録祈念
(天照大神)
アマテラスの娘、宗像三女神物語
姫神たちが織りなす神秘の古代ロマン！

金印スピリッツを伝える

神田紅独演会



福岡出身の講談師
神田紅



古典講談

昭和のヒット曲でお馴染みの粋な出会い
「お富と三郎」
因果は巡る男女の縁。果たして結末は…



国宝・金印レプリカ贈呈式

◆NPO法人 金印倶楽部は「小さな博物館運動」の一環として、金印レプリカを小・中学校に贈呈しています。

立体講談

歴史と交流のシンボル
こくほう きんいんものがたり

「国宝 金印物語」

…福岡紅塾 金印亭

このチャリティー独演会の収益金はNPO法人金印倶楽部の活動に使われます。

◆とき／平成29年 **5月20日(土)** 14:30開演 (14:00開場)

◆ところ／ウェルとばた大ホール 戸畑区汐井町1-6 (JR戸畑駅南口から徒歩1分)

◆入場料／3,500円 (当日4,000円) ※全席自由

チケット販売

■直接購入・チケットぴあ 各スポット、セブンイレブン、サークルK・サンクス Pコード:458-160

・e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> ファミリーマート

■郵送希望 金印倶楽部へお申し込み下さい。TEL (092) 737-5430 FAX (092) 737-5432 mail:kinin@kinin.com

独演会 DVD を販売致します。料金 4,000円(税・送料込)
*お届けは7月予定、金印倶楽部へ。

共催 神田紅独演会を成功させる会 後援 福岡県 北九州市 北九州市教育委員会 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 産経新聞社 日本経済新聞社西部支社 西日本新聞社 西日本リビング新聞社 RKB毎日放送 九州朝日放送 TNCテレビ西日本 FBS福岡放送 TVQ九州放送 (予定)

郷土の宝を未来へつなごます



〒810-0021 福岡市中央区今泉1-10-21-901

TEL.(092)737-5430 FAX.(092)737-5432 mail:kinin@kinin.com

<http://kinin.com> <http://fukuoka-senjin.kinin.com>

主催：NPO法人

金印倶楽部

【御挨拶】

金印スピリッツを伝える独演会が北九州の地で開催されますのも今年で六回目。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

今年7月、『神宿る島』沖ノ島・宗像関連遺産群の世界文化遺産登録が待たれています。言わずと知れた我が国の歴史を伝える八万点にも及ぶ国宝の数々。まさに「海の正倉院」の名にふさわしい古代ロマンの故郷、九州に世界中が注目していると言っても過言ではありません。

今回は、その話題の舞台、宗像大社に祀られた三人の女神の物語を語らせていただきます。驚くほどの美人三姉妹だったとか、なかつたとか。なぜ、今日まであまり語られることがなかつたのか、神話の謎に迫ります。

風薫る五月、海の道を守るために天照大神から遣わされた三女神に感謝する記念日も当月二十七日に控えているとお聞きしています。玄界灘の雄大な自然に今ひとつき思いを馳せて、海渡るいにしへの物語をどうぞ堪能くださいませ。

おかげさまで芸道40年を迎えました。真心をこめて、言の葉尽くして語ります。

講師 神田紅



神田紅 PROFILE

福岡出身、修猷館高校卒、早稲田大学中退。文学座演劇研究生を経て舞台、映画に出演。昭和54年、二代目 神田山陽と運命の出逢い、講談の魅力にとりつかれ入門。平成元年真打昇進。古典から現代ものまで幅広い作品を得意とし、「芝居講談」という新しいジャンルを開拓。平成14年、紅一門を旗揚げ、現在弟子4人。18年、国際ソロプチミスト福岡より「女性栄誉賞」受賞。20年、秋のフランス公演

は大盛況。27年、福岡より「福岡市民文化活動功労賞」受賞。郷土にゆかり縁ある先人たちの「金印スピリッツを語る一神田紅独演会」は注目を集め、講談教室・福岡紅塾60余名の「郷土の語り部」を育てながら、今年、芸道40年を迎えた。日本講談協会会長、元科学技術庁参与、元（財）日本宇宙フォーラム理事、映画評論家、エッセイストとしても活躍中。著書「紅恋（くれん）源氏物語」「語って紅伝」「女の独り立ち」など。

公式サイト <http://kandakurenai.com/> オフィシャルブログ <http://www.ameblo.jp/kandakurenai/>

演目

開口一番 福岡紅塾

◆ 講談やってみましょー

メリハリ・ツツコミ・誦い調子。講談の魅力をお場の皆様と一緒にご堪能ください。

◆ 〈古典講談〉

昭和のヒット曲でお馴染みの粋な出合い

「お富与三郎」

因果は巡る男女の縁。果たして結末は…

歌舞伎でお馴染みの物語だが、元は講談中興の祖・松林伯圓（しやうりんはくえん）が有名にしたと言われている。原題は「依田の雁鐘（よだのかりがね）」で、依田豊前守が最後に「お富さん」を処刑する悪女物語。

*修羅場読みは凛とした声の響きと勢いの良さ、古典を現代に惹きつける紅講談です。

◆ 〈立体講談〉…福岡紅塾 金印亭

歴史と交流のシンボル

「国宝 金印物語」

福岡市博物館でピカリと光り輝く、日本で一番小さな国宝 金印。講談で楽しくわかりやすく、金印通になろう！

◆ 〈創作講談〉

「神宿る島 宗像・沖ノ島と関連遺産群世界文化遺産登録祈念（天照大神）」

「アマテラスの娘」

「宗像三女神物語」

「神田紅」

◆ 〈創作講談〉

「神宿る島 宗像・沖ノ島と関連遺産群世界文化遺産登録祈念（天照大神）」

「アマテラスの娘」

「宗像三女神物語」

「神田紅」

◆ 〈創作講談〉

「神宿る島 宗像・沖ノ島と関連遺産群世界文化遺産登録祈念（天照大神）」

「沖ノ島守り伝説」より抜粋

講談は、日本古来の芸能でありながら、一人芝居…一人で演じるエンターテイメント。創作講談の脚本は生みの苦しみ…紅流に書き上げ、演じながら完成されていきます。映画でもないテレビでもない、生きた人間ドラマ。泣いて笑って…感動しますよ！

国宝・金印が放つ「交流する勇気」を子どもたちに伝えます。

国宝・金印レプリカ贈呈式

小さな博物館運動

西暦57年、私達の先祖は船で中国を訪ね、友好の証として「金印」を贈られました。2千年前の中国への船旅は、極めて困難でそして雄大なことです。先人達のチャレンジ精神と、壮大な交流の歴史を伝えてくれる「金印」は小さな博物館。歴史を大切に、困難を乗り越え未来に羽ばたくチャレンジ精神を育ててほしいと願い、金印レプリカを小学校に贈呈します。

